

ベッドのすき間、大丈夫？

～病棟で使っているベッドのすき間を確認して、
安全のために必要な対応策を考えよう～

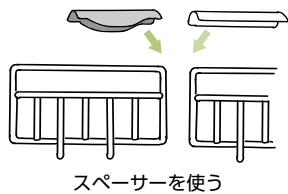
① 2009年に医療・介護ベッドのJIS規格が変更に！

ベッド本体や附属品とのすき間によって生じる事故を未然に防ぐため、次のような規定に改正されました。

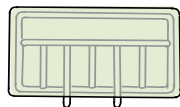
- 「サイドレールとサイドレール」「サイドレールとボード」のすき間は、直径6 cmのものが入り込まないこと、または、23.5 cm以上のサイズになっていること
- サイドレール内の空間は、直径12 cmのものが通らないサイズになっていること

② すき間をなくす工夫

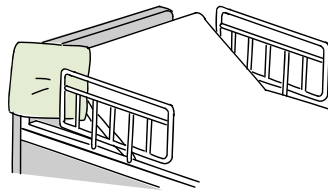
- ベッド専用の附属品で対応する
- まくら、クッション、毛布などを使ってすきまをなくす



スペーサーを使う

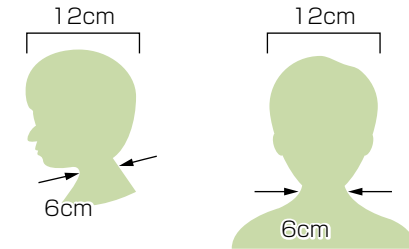


カバーで覆う



枕やクッションですき間をうめる

ベッドのすき間に
頭が入り込まない
首が入り込まない



チェックポイント

- ベッドにどのようなすき間があるか、確認しよう！
 - 外から見るだけでなく、ベッドに寝た状態ですき間を確認しよう
- すき間の大きさをスケールで測定してみよう！
 - 「サイドレールとサイドレール」「サイドレールとボード」の間に6 cm～23.5 cmのすき間はないか？
 - 「サイドレール内」に直径12 cmのものが入るすき間はないか？
- すき間を埋めるための対策を考えよう！



患者さんがどのような状態のときに、
ベッドのすき間にはさまれる可能性があるのか、
話し合ってみよう！